

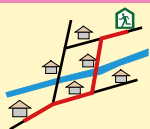
避難の心得

避難時の注意事項

※新型コロナウイルスは避難所など大勢の人が集まると感染しやすくなります。感染防止のため、マスクなどを日頃から準備しておきましょう。

災害時の避難は普段通っている道でも、夜間などは足元が見えないことが多いので慎重に行動しましょう。また、頭上からの落下物や飛来物にも十分注意しましょう。いざという時慌てないためにも、どこへどの道を通って避難するのかを普段から家族や隣近所で話し合っておきましょう。

避難路の
確認



非常時の持出し
は少なくする



火の始末
戸締り



災害情報を
正確につかむ



隣近所で
声を掛け合う



出来るだけ
徒歩で避難する



協力して
避難する



避難所では
感染症対策を



災害の発生が事前に予測できる場合などは、町から避難指示等を発令する場合があります。テレビやラジオ、インターネット、携帯電話、周りの状況に注意し、発令があった場合には、適切な行動がとれるよう心がけましょう。ただし、土砂災害などは予測が困難であるため、危険を感じたら避難指示等の発令が無くても隣近所で声を掛け合い、早めに自主避難できるよう心がけましょう。

風水害時の注意事項

大雨が降るときには、気象台は様々な気象情報を発表します。気象は急変するため、身の周りの状況の変化にも注意が必要です。情報を有効活用し、危険が迫る前に早めに避難しましょう。

また、大雨による避難の際には以下の点に注意して避難しましょう。

履きなれた
靴を履く



棒を使って
水面下を確認



お互いの体を
ロープで結ん
で避難する



逃げ遅れた時
は堅牢な建物
へ避難する



土砂災害時の注意事項

土砂災害から身を守るためには、土砂災害が発生する前に避難するほかありません。土砂災害が起こる前には、各現象に前兆現象が現れる場合があります。下に挙げたものは主な前兆現象です。こうした前兆現象を確認したら、近所に声をかけあって、ただちに安全な場所に避難しましょう。



- ・急に川の水が濁り、流木が混ざり始める
- ・降雨が続くのに川の水位が下がる
- ・山鳴りがする



- ・がけにひび割れができる
- ・小石がパラパラと落ちてくる
- ・がけから水が湧き出してくる



- ・地面がひび割れたり陥没する
- ・斜面から水が噴き出す
- ・井戸や沢の水が濁る